

経営比較分析表（令和3年度決算）

鳥取県境港市 日ノ出駐車場

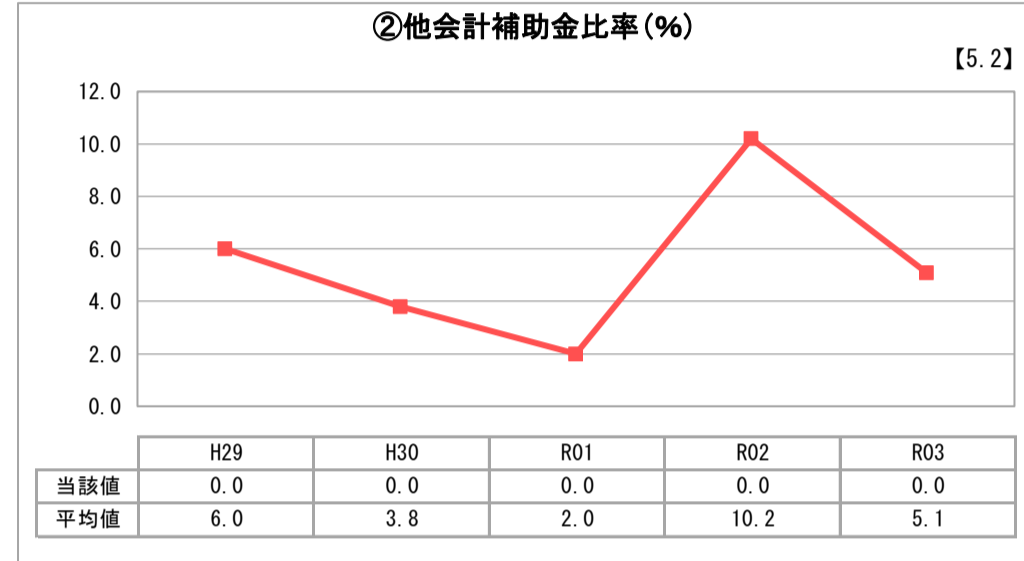
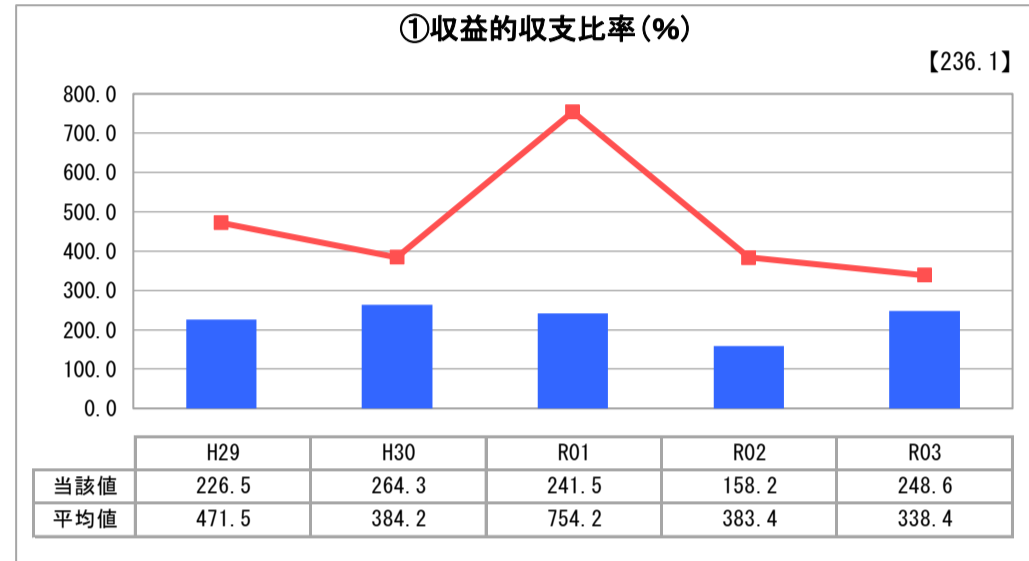
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場 屈出駐車場	広場式	48	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	無	3,912
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
127	200	無

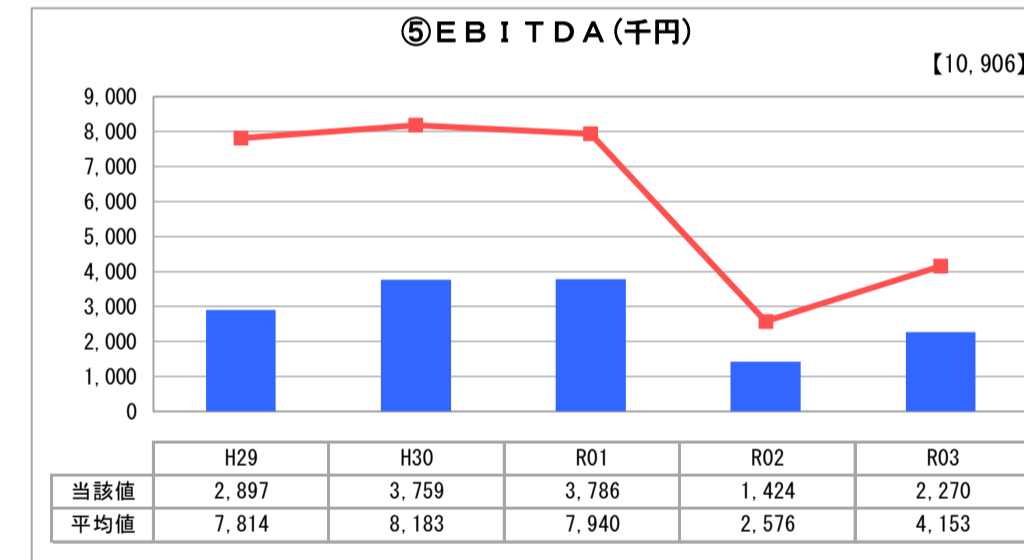
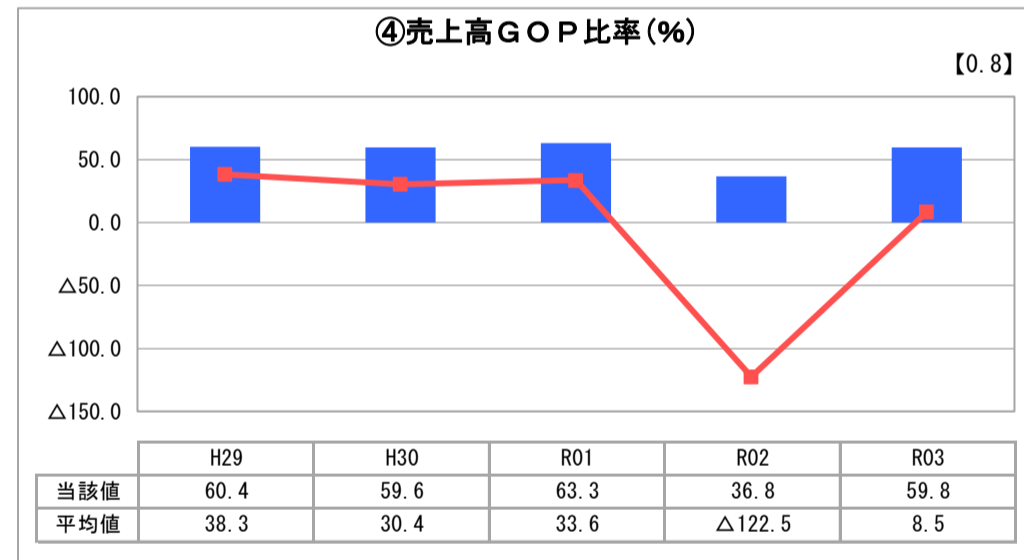
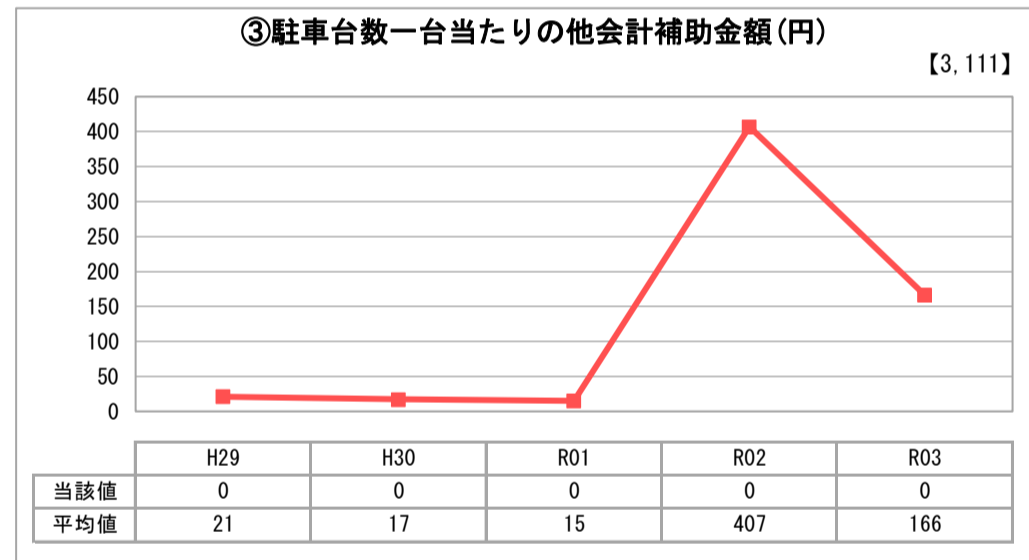
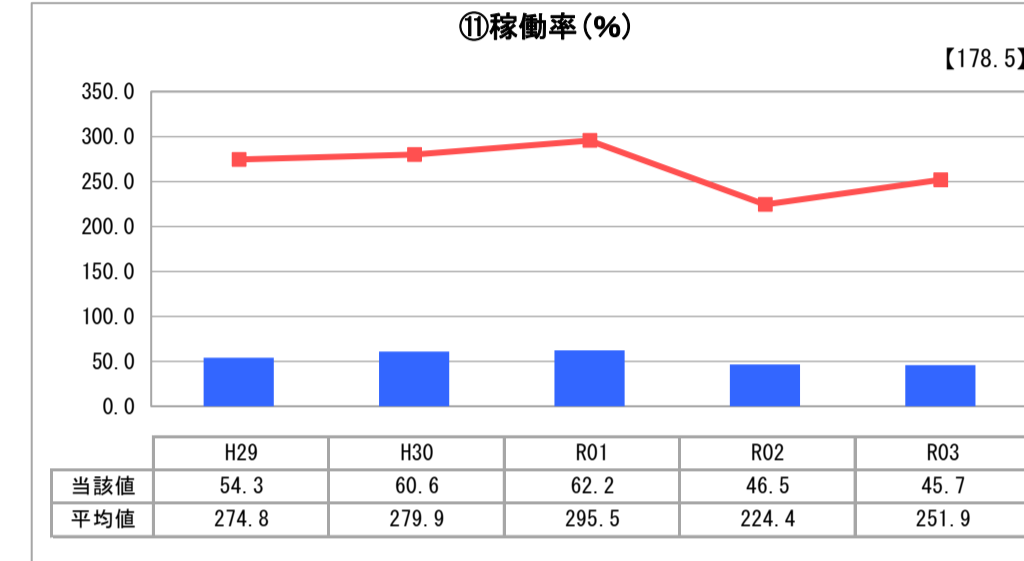
グラフ凡例

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 【】 令和3年度全国平均

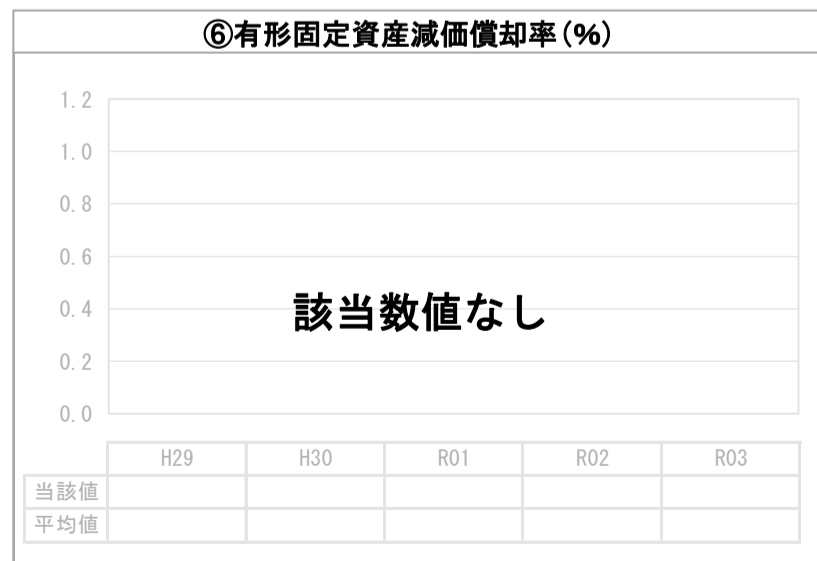
1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

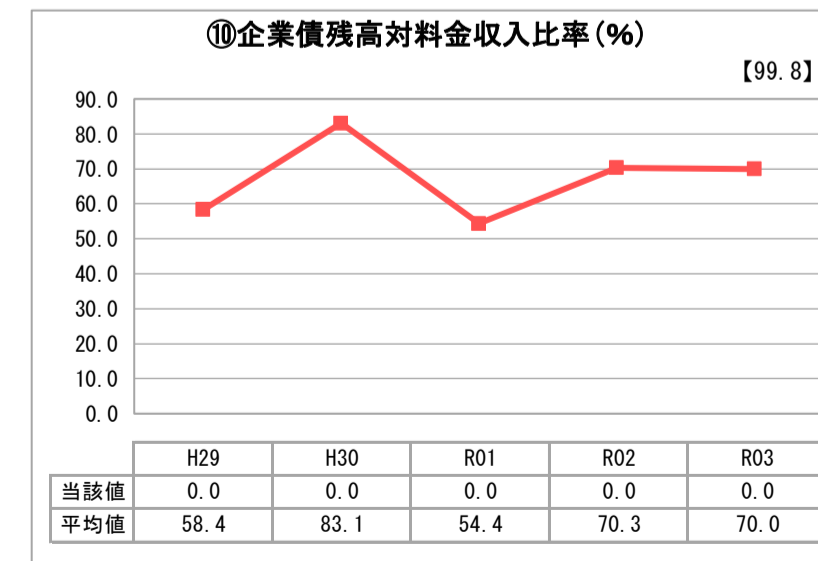


⑦敷地の地価(千円)

81,478

⑧設備投資見込額(千円)

3,861



分析欄

1. 収益等の状況について
 他会計からの繰り入れは無く、収益的収支は常に100%を超過している。
 類似施設と比較するとEBITDAは低めであるが、広場式の駐車場のため営業費用は少額となっている。
 新型コロナウイルスによる移動制限等の影響を受け、収益は減少したが、類似施設の売上高GOPの平均値が大きく低下している中で、プラス状態をキープし続けるなど、経営は比較的に安定している。

2. 資産等の状況について
 広場式の駐車場であり、今後の設備投資についても規模の大きなものは計画しておらず、券券機などの更新にかかる費用程度を見込んでいる。
 現在、企業債の残高は無く、今後も借入の予定は無い。

3. 利用の状況について
 観光地に隣接した駐車場であり、平日の利用客が少ないため稼働率は低めの水準で推移しているが、今後も安定した利用が見込まれる。
 令和2年度及び3年度は、新型コロナウイルスによる移動制限等の影響を受け、利用客数が大きく減少した。

全体総括
 稼働率は比較的低い傾向にあり、また新型コロナウイルスのため利用者数が減少したが、現状において収益性は確保されている。
 当面、大きな設備投資の計画が無く、観光客による一定の駐車場利用が見込まれることから、安定した公営企業経営が可能と考えられる。
 なお、観光地に隣接した駐車場であり観光施策と連携した整備・運営が必要であること、広場式の駐車場であり維持管理費が最小限となっていることから、民間への譲渡や民間活用には馴染まない。
 今後も黒字の継続が見込まれるが、維持管理費が過大とならないよう抑制に努める。